

# 増田俊男の『愉快な暴言』2025年5月9日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[X(旧 twitter)] [t\\_masuda2019/](#)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t\\_masuda2019/](#)



時事評論家 増田俊男

## 米中関税チキンレース(根競べ)

いよいよ今週末から米中関税戦争妥結の為スイスで米中高官による米中関税交渉が行われる。中国が言う通り、今回の関税騒ぎは、一方的にトランプが通商相手国に仕掛けてきたのであって、相手国は単なる受け身である。

中国は「売られた喧嘩は受けて立つ、最後まで戦う」と言い、「お前の方から頭を下げてくるなら交渉に応じてもいいよ」と言う立場である。

ベッセント財務長官は米中交渉を前に「現状は持続可能ではない」と言った。

対中 145%、対米 125%の現状をアメリカはこのまま維持出来ないと言っているのである。

つまりアメリカは最早現行の相互関税に耐えられないと言う意味である。

ベッセント財務長官が、「もうこれ以上耐えられない」と告白したので中国が交渉に応じたのである。

トランプは、「アメリカの対中貿易赤字は、長年にわたってアメリカが中国に略奪の限りを尽くされてきた結果である」と言う。

ノーベル経済学賞を受賞したポール・クルーグマン氏やジョセフ・スティグリッツ氏はトランプのことを「馬鹿げている」と言って一蹴している。

「貿易赤字は略奪された損、黒字はむしり取った利益」と言う出鱈目の大間違いを世界の大国アメリカの大統領が言うとは、21世紀になって世界にとんだコメディアンが現れたものである。

アメリカの経済体質は需要が大きくて供給が少ないインフレ体質。

供給が需要を満たせない、すなわち常に品不足であって、そのギャップを補っているのが中国である。

アメリカの貿易赤字は、消費者が必要としてもアメリカ国内で得られないので仕方が無く中国から買った不足分の代金である。

アメリカの貿易赤字はアメリカの経済構造、経済体質上の問題であって、略奪されたなどと言うものではない。

極めて無教養の人間が大国アメリカの大統領になって朝晩わけのわからないことをわめき散らし世界を騒がしている。

テレビでもなかなか視られないコメディではないか。

どんなに面白いコメディでも毎日視ていると飽きる。

その時コメディアン・トランプは舞台から消える

私は「増田塾」で毎朝「本日の株式指南」と「本日の政治情勢」で皆様に他所では聞けない大変お役に立つお話しをしています。

トランプの先読みで株価の上げ下げやウクライナ戦争の幕引き時などお話ししています。

増田一家になったとたんに儲かります。

※小冊子 Vol.149 は 5/12(月)から順次発送開始予定！お申込みはお早めに！

<https://www.musrjec.com/>

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。